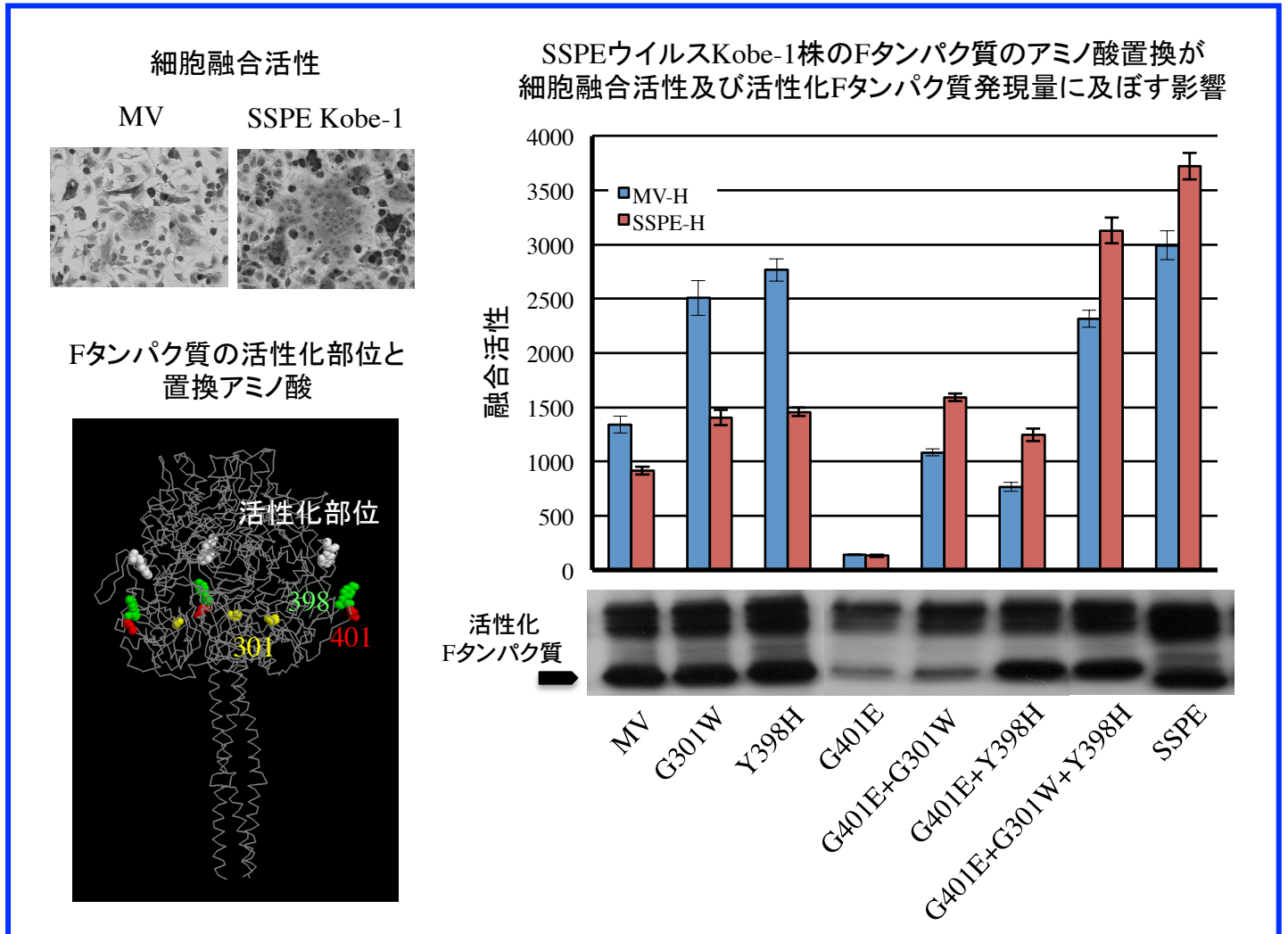


SSPEウイルスKobe-1株Fタンパク質の細胞融合に関わる変異

研究分担者:神戸大学大学院医学研究科微生物学分野 堀田 博



解説

1. SSPEウイルスKobe-1株のFタンパク質は、麻疹ウイルス(MV)野生株のFタンパク質より強い細胞融合活性を示した。
2. SSPEウイルスKobe-1株のFタンパク質に認められるアミノ酸置換について解析したところ、フリンプロテアーゼによる活性化を低下させ、細胞融合活性を抑制するG401E変異を見出した。SSPEウイルスへの変異の過程でMVの増殖を制限し、潜伏感染に関連する可能性が考えられる。
3. 一方、G301WおよびY398Hの置換は、G401Eによる細胞融合活性の抑制を回復させた。これらのアミノ酸置換がSSPEの発症を誘導するか感染実験で確認したい。